

# Shimotsuke English Journal (SEJ)

Vol. 24



H29.11.10

## 今月のキーワード

移行措置期間の学習

新教材の特色

平成29年3月に告示された新学習指導要領についての解説が6月に公表されました。小学校中学年外国語活動と高学年外国語科、小学校高学年外国語科と中学校外国語科のつながりが今まで以上に明らかに示されています。来年度から始まる移行措置の学習を経た児童が、平成31年度から中学校に入学してくることになります。移行措置の学習内容、小学校学習指導要領解説「外国語編」「外国語活動編」について、中学校の先生方にも是非確認していただきたいと思います。

### 移行措置期間における学習内容

9月下旬に、小学校新学習指導要領に対応した新教材についての報告会（文科省）が開催されました。移行措置期間の学習内容や新教材の特色について、一部お知らせいたします。

学年	教科	単元	学習内容	時数
H30年度新6年生	英語	1	英語のコミュニケーションの楽しさを知る。英語のコミュニケーションの楽しさを知る。英語のコミュニケーションの楽しさを知る。	10
		2	英語のコミュニケーションの楽しさを知る。英語のコミュニケーションの楽しさを知る。英語のコミュニケーションの楽しさを知る。	10
		3	英語のコミュニケーションの楽しさを知る。英語のコミュニケーションの楽しさを知る。英語のコミュニケーションの楽しさを知る。	10
		4	英語のコミュニケーションの楽しさを知る。英語のコミュニケーションの楽しさを知る。英語のコミュニケーションの楽しさを知る。	10
		5	英語のコミュニケーションの楽しさを知る。英語のコミュニケーションの楽しさを知る。英語のコミュニケーションの楽しさを知る。	10
		6	英語のコミュニケーションの楽しさを知る。英語のコミュニケーションの楽しさを知る。英語のコミュニケーションの楽しさを知る。	10
		7	英語のコミュニケーションの楽しさを知る。英語のコミュニケーションの楽しさを知る。英語のコミュニケーションの楽しさを知る。	10
		8	英語のコミュニケーションの楽しさを知る。英語のコミュニケーションの楽しさを知る。英語のコミュニケーションの楽しさを知る。	10
		9	英語のコミュニケーションの楽しさを知る。英語のコミュニケーションの楽しさを知る。英語のコミュニケーションの楽しさを知る。	10
		10	英語のコミュニケーションの楽しさを知る。英語のコミュニケーションの楽しさを知る。英語のコミュニケーションの楽しさを知る。	10
		11	英語のコミュニケーションの楽しさを知る。英語のコミュニケーションの楽しさを知る。英語のコミュニケーションの楽しさを知る。	10
		12	英語のコミュニケーションの楽しさを知る。英語のコミュニケーションの楽しさを知る。英語のコミュニケーションの楽しさを知る。	10

来年度の3～6年生が学習する移行措置の内容と時数等が出されました。

例えば、H30年度新6年生の学習内容は  
Hi, Friends!2 (7単元) + 新5年生教材 (2単元) + 新6年生教材 (6単元) となっています。

※市としても移行措置に関して共通理解をする場を今後設定したいと考えております。  
上記の資料は、各小学校外国語活動主任の先生方宛、後日データ送付いたします。

### 新学習指導要領に対応した「小学校新教材」(文科省より配付)

- ① 児童用テキスト (3～6年生) . . . . . 児童一人1冊配付予定
- ② 指導書 (3～6年生) . . . . . 各担任1冊配付予定
- ③ デジタル教材 (3～6年生) . . . . . 各学校1枚配付予定
- ④ 年間指導計画案 (3～6年生) . . . . . ホームページ掲載予定
  - ・ 単元計画案 (各学年9単元分)
  - ・ 指導案 3, 4年生 (各35時間分) 5, 6年生 (各70時間分)



※既に①②の5, 6年生分 (We can!) はネット上に掲載されています。  
各学校に送付してあるパスワードを使用して内容を御確認ください。

## 新教材の特色(1/2)



高学年用新教材（We can!）は、3年生からの外国語活動を70時間経験してきた児童が活用することを想定して作成されています。内容的にも高度な印象を受けるとは思いますが、移行期間中に新学習指導要領の外国語教育のイメージがもてるよう、今後2年間、有効に活用していきましょう。

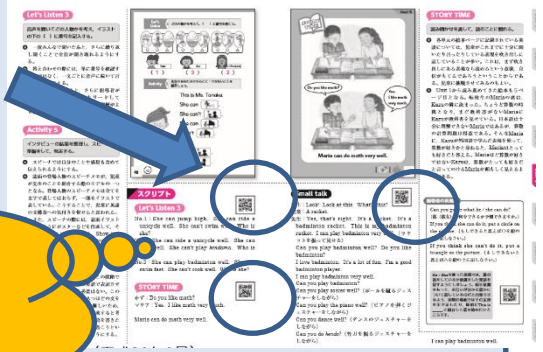
新教材の特色について、次号と併せて何点か紹介させていただきます。

### ●Small Talk 等の活用

QRコードが教師用指導書に掲載されています

スマホやタブレットで読み取れば、先生方の予習用として、また授業中にも活用できる便利な機能です。

既習語句や表現を繰り返し活用することで、定着を図ったり、対話の続け方を身に付けたりできるよう工夫されています。先生方も子どもたちと一緒に英語を使いながら活用していきましょう。



### ●三人称や過去形の扱い

- ・5年生ではUnit5で三人称（He・She）を導入しましたが、canを伴っているため、三単現のsは出てきません。また、疑問文や否定文も扱いません。
- ・6年生のUnit5では過去形を扱います。saw/went/ate/enjoyedなど限られた単語ですが、音の違いが分かりやすいこともあり、不規則動詞を多く扱っています。

夏休み中に訪れた場所を伝える際に必要な過去形の単語を扱うなど、児童が言いたいことを表現できる活動が設定されています。



## ALT 研修（緑小会場）



11月8日（水）、今年度4回目のALT研修を行いました。4年1組担任の小林利幸先生とKarl先生のチームティーチングの授業を参観させていただき、その後ALT全員で授業に関する協議を行いました。

本時のテーマは「スポーツ」。導入場面では、学習テーマを示す前に先生方がデモンストレーションを行い、“What is today's topic?”と質問を投げかけ、興味関心を高めていました。日頃よく耳にするスポーツ名ですが、日本語と英語の音の違いについて気付きのある授業でした。ありがとうございました。

文責：稲葉亜希恵